

2018年9月1日発行
(一社)名古屋市医師会

中区在宅医療・介護連携

支援センターだより 第1号

【編集・発行】
(一社)名古屋市医師会
中区在宅医療・介護連携
支援センター
中区三の丸1-3-1
名城病院1階
TEL: 052-201-0874

ごあいさつ

平成28年4月に開所した中区在宅医療・介護連携支援センターも3年目を迎えました。

当センターは大きく分けて二つの役割を担っております。一つは地域包括ケアシステム構築の1つの柱である在宅医療・介護連携の推進(研修会の開催や区民向け普及啓発活動等)、もう一つは在宅医療に関する地域の相談窓口としての役割です。

開所からこれまで、中区の医師会、歯科医師会、薬剤師会、介護事業者連絡会、行政機関のご協力を得ながら様々な活動を通じて、地域包括ケアシステム構築の1つの柱である在宅医療・介護連携の推進を図ってまいりました。また区民の方からも徐々にご相談をいただくようになっております。

この度、当センターの活動を、中区の医療・介護関係者、地域住民の皆様により知っていただくため、「中区在宅医療・介護連携支援センターだより」を発行することとなりました。

この「中区在宅医療・介護連携支援センターだより」を通じ、ますます地域の皆様とのつながりを深めていきたいと考えています。これからもよろしくお願ひ致します。



活動報告

在宅医療参画研修

在宅医療の推進、区内の医師の在宅療養への参入促進を目的に、医師を対象に開催される研修会です。平成30年度第1回は、在宅医療・介護のしくみを知り、在宅療養を支えるために地域で求められる医療職のあり方を学ぶ研修を行いました。

医師、関係職種31名にご参加いただき、「話をきいて方向性がわかった」「制度の概要や仕組みについて理解できた」等の感想をいただきました。

多職種連携研修会

区内の医療と介護の連携推進を図るため、医療・介護関係者を対象に開催する研修会です。

今年度は、「病院との連携」をテーマとして掲げ、第一回は「なにを伝える？多職種連携～入院時編～」と題し、入院時の連携について、多職種で考える研修会を行いました。アンケートでは「どのような情報が必要か理解できた」「生の現場の声が聞けたので良かった」等のご意見をいただきました。

平成30年度第1回「中区多職種連携研修会」

つながる中区、その先を考える
「なにを伝える？多職種連携～入院時編～」

日時:平成30年7月7日(土)14:30～16:30(14:00受付開始)

場所:中日病院 4階大会議室(中区丸の内3丁目2番)号

定員:72名(名古屋市内在住)※参加費は無料です(当日の都合により)

開会挨拶 中区医師会会長 たわだ 祐彦 院長 多和田 俊博 先生

座 長 中村 ナベツリコ 院長 渡辺 吉博 先生

第1部 基調講演 14:30～15:00
『在宅療養者の入院時における情報共有の工夫』
講師 NIT 西日本東海病院 副院長 武田 裕生 先生

第2部 パネルディスカッション 15:00～16:30
『入院時連携と地域連携のつながり』
コーディネーター NIT 西日本東海病院 副院長 武田 裕生 先生
中日病院 院長 日本 茂博 先生
名城病院 診療部長 藤田 雅之 先生
名古屋大学 医学部 社会医学講座 主任 立花 先生
名古屋医療センター 地域医療連携課長 君澤 隆 先生
副司会 川口 幸美 先生

多職種連携について考えたとき、意見交換をしてみたい。参加したいです。

日本医師会生涯教育推進部認定講座
カリキュラムコード:11(医療)多職種連携研修 1.0単位
単位取得可能 0.5単位

主催:名古屋市中区医師会
(一社)名古屋市医師会 中区在宅医療・介護連携支援センター
協賛:名古屋市中区医師会 介護事業者連絡会
後援:名古屋市中区医師会 地域包括ケア推進部 地域連携推進課
問合せ:名古屋市医師会 中区在宅医療・介護連携支援センター(TEL:052-201-0874)

平成30年度 第1回在宅医療参画研修
～中区を支える在宅医療・介護のしくみ～

日本医師会生涯教育推進部認定講座
カリキュラムコード:11(医療)在宅医療・介護研修 1.0単位
単位取得可能 0.5単位

人生100年時代の在宅医療・介護。現在進行形にある在宅医療を拡大するために、診療報酬・介護報酬の改革を機に、地域包括ケアシステムの中で求められる医療職・介護職のあり方を学びます。

日時:平成30年5月19日(土)14:30～16:30(受付14:00～)

場所:名古屋市医師会館 6階 講堂(定員60名)

振 込:名古屋市医師会 会長 多和田 俊博
課 長:森内 利久 二階 院長 森和野 先生

14:30～15:00
1 講演「地域包括ケアシステムにおける医療と介護の連携について」
講 師:東海北陸衛生局 地域包括ケア推進課 佐々木 忠信 氏

15:00～15:30
2 講演「2025年に向けての医療職・介護職のあり方
～W改革を契機として～」
講 師:公益社団法人愛知県理学療法士会 代表理事 青山 真之 氏

16:00～16:30
3 ディスカッション「中区を支える在宅医療・介護のしくみ」

講師:中村のゆかり 先生

主催:名古屋市中区医師会
(一社)名古屋市医師会 中区在宅医療・介護連携支援センター
後援:名古屋市中区医師会 介護事業者連絡会

【問い合わせ】
中区在宅医療・介護連携支援センター TEL 052-201-0874

PICK
UP!

在宅療養 Q & A

Vol.1 ～訪問診療と往診の違い～

このコーナーでは、在宅療養に関する疑問に、区内で活動する専門職の方々にお答えいただきます。今回は「訪問診療と往診の違い」について、中区医師会会長 多和田俊保先生に伺いました。



『訪問診療』とは「○曜日▲時に」と約束をして、定期的にご自宅等を訪問し、計画的に治療や健康管理等を行うことです。

『往診』は、緊急時に通院することができなくなった患者・家族からの要請を受け、医師が訪問し、診療を行うことで、基本的には臨時の手段です。

在宅療養において、訪問医は定期的な『訪問診療』に加え、緊急時には必要に応じて臨時の『往診』、入院先の手配などを行います。高血圧や糖尿病と言った慢性的な病気の診察から、人生の最期の看取りまで、看護師やその他の専門職と連携して支えています。

今後の予定

- ★10月10日(水) 20時～ 東京第一ホテル錦 * 医師対象
第2回在宅医療参画研修「“ときどき入院、ほぼ在宅”を支える名古屋市医師会の取り組み」
- ★11月11日(日) 13時～ 中区役所 6階 会議室 * 市民向け
第1回在宅医療と介護 中区民のつどい (介護まつりinなか2018 同日開催)
- ★1月19日(土) 14時30分～ 名古屋医療センター * 多職種対象
第2回多職種連携研修会「つながる中区、その先を考える なにを伝える? 多職種連携～退院時編～」
- ★3月16日(土)14時～ 中区役所ホール * 市民向け
第2回在宅医療と介護 中区民のつどい

ご案内

中区在宅医療・介護連携支援センターは、在宅医療に関する相談窓口としての役割を担っております。

- ・ 通院が難しくなった、自宅に訪問してくれるお医者さんを紹介して欲しい。
- ・ 在宅療養って何?どんなサービスを受けることができるの?

といった地域住民、介護事業者等からの相談に対応しております。お気軽にご相談ください。

住所:名古屋市中区三の丸1-3-1 名城病院1階
電話:052-201-0874 受付時間:平日9時～17時

医療ソーシャルワーカーの杉戸です。

平成28年4月の開所の時から中区で働いています。官庁街、オフィス街、繁華街、住宅街まである中区には、様々な医療機関や介護事業所があります。その連携の一助となれるよう頑張っていきます。

医療ソーシャルワーカーの斉藤です。今年4月に名東区から異動してまいりました。当センターが中区により深く根づくことができるよう、頑張っていきたいと思っております。よろしくお願いいたします。

